学校番号	T3036

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学) 数学演習Ａ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 授業では、基礎計算から学習することで自分の力で解く姿勢を身につけ、できた、という実感を持つことができる活動を行います。
- 高校数学に必要な基礎的な数学力を養うため、中学校数学の基礎的な部分から復習しますので、数学に少しでも不安がある人でも取り組みやすい授業になるように進めていきます。
- 疑問やつまずきは一人で悩まず、周りの仲間や教員に質問し、小さなコミュニティーの中で相互に教えあうことでより深い理解を進めます。

2　学習の到達目標

1. 高校数学の学習する上で必要な、数学の基礎的な内容を幅広く学習し、基礎学力の向上と習得するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
3. 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする意欲を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し・統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考えを数学的論拠に基づいて判断しようとする意欲、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする意欲や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数の計算	・整数、小数、分数の計算 ・正負の数の四則演算	a:整数、小数、分数の四則計算をすることができる。また正の数と負の数の必要性と意味を理解し、四則計算をすることができる。 b:複雑な整数、小数、分数の四則計算を工夫して行うことができる。また正の数と負の数の意味を理解し、工夫して四則計算をすることができる。 c:整数、小数、分数の四則計算を何通りかの方法で計算できないか考察することができる。また正の数と負の数の関係性を理解し、それを生かして四則計算をすることができる。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
	数と式	・文字を使った式 ・多項式と単項式 ・多項式の計算(1),(2) ・乗法公式 ・因数分解(1),(2) ・展開、因数分解のくふうと利用	a:指数法則を用いて多項式の加法、減法、乗法を計算することができる。また展開や因数分解の公式を利用することができる。 b:一つの文字に着目したり、一つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をすることや、目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。 c:具体的な事象の考察に式の展開や因数分解などを活用しようとしている。また因数分解の検算に展開を利用しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

後期	図形	・図形の性質 ・基本の作図 ・平行線と角	a:角の二等分線、などの基本的な作図の方法を理解し、平行線や角の性質を理解する。 b:図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現でき、二つの図形の関係について考察し表現できる。 また、基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。 c:数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする意欲がある。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
		・平行線と比 ・三平方の定理 ・円周角の定理	a:平行線と線分の比についての性質を理解し、三平方の定理、円周角の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ることができる。 b:平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめるとともに、三平方の定理、円周角の定理を見いだし、具体的な場面で活用することができる。 c: 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめようとしている。また、具体的な場面で三平方の定理、円周角の定理を活用しようとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	定期考査 確認テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度